KRJ
Kunimi Reform Journal
くにみリフォームジャーナル
7月30日号
編集 国実女子部

株式会社 国実
佐久市中込3611-170
TEL.0267-64-1822
◎ホームページ◎
http://www.kunimi-co.jp/

「職人気質」

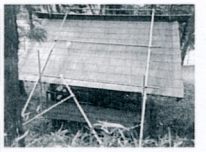
キッチンにも
耐用年数とか
寿命って在るのかしら？
いつも、完工写真に収まる
ピカピカのキッチンを見るたびに
このキッチンは後何年このお宅で
お役に建てるのだろうか？
そんな思いがふと頭をよぎる。
微かに見えてきた自身の終着点を
老眼の始まった目をこすりながら
見据えた時
どうしても残りの人生とお客様を
重ね合せてしまう
もちろんわかっている、余計なお世話。
でも心配・・。
　そんな徒然な思いを巡らせる時
いつも思うのは
お客様と寄り添う、このような言葉は
簡単に発してはいけないという事。
どこか覚悟みたいなものが無いと
使えない・・・・
とても重い言葉。

昨年廃業した白アリ駆除業者がいる。社長と社員二人の小さな会社だ。廃業当時社長のAさんは68歳。太く低い声が、がっしりした体躯とデニムの作業着によく似合っていた。
　その大きな体をタコみたいにくねらせ、小さな穴から床下に消えていく様は、引田天功の手品の仕草と全く同じで、仕事を終えその穴から出てくるときはきっと美女に変わってるんじゃない、などいつも笑いのネタを提供してくれていた。
　絶対ウソをつかない、現場の状況を的確に把握する、それが流儀だった。大げさでは無く、でも過小評価もしない。髪の毛にまとわりついたクモの巣を気にかける様子も無く、床下の様子を、被害の状況を、ゆっくり丁寧にお客様が納得するまで説明する、そんなAさんに当社も全幅の信頼を寄せていた。
　いつか忙しいとの事で他の業者に点検を依頼した事があった。点検を終えたその若い作業員はお客様を前に、身振り手振りを交えながら、写真を見せながら待ったなしの状況ですよと説明していく。Aさんとは違う説明手法にその時感じた違和感。それは彼のマニュアル的な説明にだった。
　あまりにも流暢で素晴らしかった・・が、白アリ駆除に限らず、工事に関してはお客様の目視できない箇所を、知らないことを齟齬のないようしっかり説明し、それぞれが描く夢を、求める安心を実現するのがプロフェッショナルであり、職人だと思う。
　きちんと『現状を理解して、勧めてくれている』という安心感をお客様に与えるか、又お客様がその事を感じるか・・その一歩目を私たちはAさんから学んだ。
　Aさんの点検、説明、工事、そして保証まで、そのブレ無い姿勢はきっと自分に課した、強烈なプロ意識からだ。
　それは安心を、錦の旗を振るだけで与える事の出来る大手企業と、全身で伝えねばならない弱小企業との差を埋める知恵だったのかもしれない！
　昨年10月、当社を訪れたAさんは、今月いっぱいで仕事の受注を止めると言った。高齢で今後5年の保証を担保できない、それが理由だった・・・。5年後、最後のお客様の保証期間終了と同時にAさんの長い戦いは終わりを告げるが、これから5年、保証のためだけの空白の歳月は、Aさんの職人としての品格そのものを、香り立たせてやまないと思う。
　どこまでもブレない職人気質、その潔さにただただ驚くばかりであった。

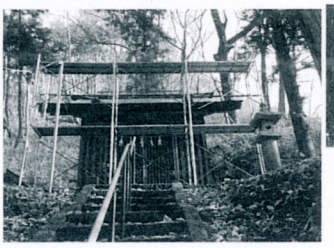
神様 ほとけ様からのお声掛け

国実分校で開催しています
（宗教を学ぶ）講座が好評です
工事依頼も
（お寺　教会　神社　屋敷神様　墓標の補強等々）
分校授業に合わせたかの様にお導きがありました

神社

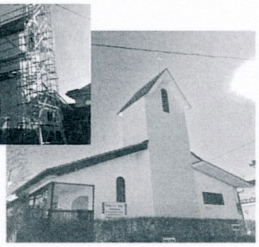


神社といえば、鬱蒼と生い茂った樹々のオーラに守られているマイナスイオンを纏った建物、といったイメージではありませんか？
　それ故に屋根まわりに不具合が発生し易い環境ではあります。
　この神社、屋根は銅板葺きで、錆び対策は万全でしたが思わぬところに盲点が・・・・。



　それは伸びに伸びて大きくなった樹々の枝でした。強風で折れ、屋根を直撃。
　これは鎮守の神様の怒りだ！焦眉の急だ！直してくださいと、区長さんから依頼がありました。

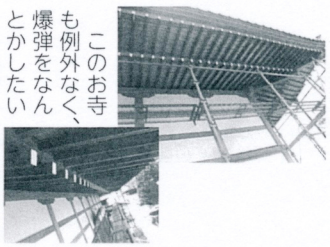
教会



　牧師さんから、強い雨の時に壁から雨水が染みてくる！何とかしてほしいと電話がありました。
　対策として正面の壁にサイディングを張り防水を施しました。
　合わせて、足場も組むので教会のシンボル十字架にも塗装でお色直し。
　前、後の写真をお見せできなくて残念ですが、お色直しを終えた十字架は本当に**マリア様**のような美しさで、蒼穹を背に凛として佇んでいました。

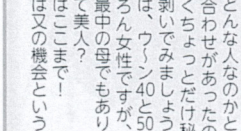
お寺

　お寺からツバメ対策の依頼です。
　この時期どこもかしこも、言い伝えとはあまりにもかけ離れている、品のかけらもないツバメの無差別糞爆弾で悩まれている方多いのでは無いでしょうか。
　このお寺も例外なく、爆弾をなんとかしたいとの事でした。毎日、お掃除で日がくれる、住職のボヤキとともに切羽詰まった思いが伝わってきました。
　こうなれば国実でなんとかしましょう・・と相成りました。



要望
テングスを3線張って防止する
止め金具はお寺の風格に沿うもので、ハシゴでできないか
　この中のハシゴでの作業は危ないという事で、足場を架ける事に（ツバメのためにお金を使いたくない気持ちは忖度）止め金具は銅製の鋲を使用（とてもお似合いでした）

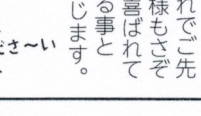
テングスによる
鳥類撃退法「実例」
　このアンテナに張ってある透明な糸見えますか？
　以前はカラスが止まってやはり爆弾に悩んでいました・・がいまは寄り付く気配なしです。効果覿面。もはや鳥類対策の正露丸と言っても過言では無いでしょう。



テングス３本見えますか？

屋敷神様

　個人所有とは思えない立派な祠と3体の屋敷神さま。
　以前は大樹の根がはびこり足場も悪く、祠も傾き加減でしたがこの周辺を一族の聖地、拠り所とすべく開発のメスを入れました。施工はもちろん**神様の寵愛**を一身に受ける株式会社　国実でした。
　まずは伐採。光が入りとても明るい空間になりました。
　つぎにコンクリーで土間を作り地震にも耐えうる様、しっかり据え付け、合わせて階段も整備（高台にあるので）し、足腰悪くてもお参りできるよう、参道も含めて手を入れました。



　これでご先祖様もさぞや喜ばれている事と存じます。

ホームページのご案内　みてください～い
当社認定アイドルの国子が案内する、日々の工事や現場の様子ご覧になって頂いているでしょうか？
国子はじめ母、父まで登場して支離滅裂な・・イヤイヤ理路整然とリフォームや、市井の生活をユーモアも取り入れ紹介している国子さん。
さてどんな人なのかと？
問い合わせがあったので、仕方なくちょっとだけ秘密ベールを剥いでみましょう
御年は、ウン40と50歳の間。
もちろん女性ですが、子育て真っ最中の母でもあります。
そして美人？
今回はここまで！
続きは又の機会という事で。